

平成 26 年度丹波の森夢会議 記録

第 7 期丹波地域ビジョン委員会は、平成 26 年 4 月に発足し、丹波地域ビジョン「みんなで丹波の森」に掲げた「自立」、「交流」、「元気」、「絆」、「安全安心」をテーマとした 5 つの将来像の実現に向け、8 つのグループに分かれ様々な活動に取り組んでいます。

発足から 1 年を迎えるにあたり、ビジョン委員相互で丹波地域の将来に対する思いを共有したうえで、地域で活動する団体の皆さんや地域の皆さんと広く意見交換、交流を行うことにより、「つながり」を深め、地域全体でビジョンの将来像実現に向けた取組の充実が図れるよう丹波の森夢会議を開催しました。

- 1 開催日 平成 27 年 3 月 7 日（土） 10：00～15：30
- 2 場 所 丹波の森公苑
- 3 テーマ つながろう！たんば
- 4 内 容

【第 1 部】10：00～12：00

ビジョン委員による交流会

参加者が 5 テーブルに分かれて、取組んでいる活動内容や丹波地域の将来に対する思いなどを自由に語り、最後に各テーブルで話し合った内容を発表しました。

A：委員の中での交流が今後のネットワークづくりのきっかけになった。

相手の立場になって考えることによっていろんなアイデアが出る。

B：色々な活動を聞いている中で話が発展し、他グループの活動に生かせるような意見も出てきた。

親子のような年代にまで広がった会話ができた。

活動の PR の必要性を感じた。

C：ビジョン委員会が何をしているのか知らない人が多いので、情報発信することが大切。

いろんな世代、いろんな活動をしている人とつながれることによって、より魅力的な活動につながる。

D：各グループの活動をシェアしてつながっていききたい。

自分がやりたいと思っていることが、本当に相手が望んでいることなのかを考えてマッチングしていくことが大切。

E：今をしっかりと生きていけばアイデアが生まれるのではないかな。

効果的な情報発信の方法を考えていきたい。

小橋専門員コメント

多様性が大切。これほど多様な人が一堂に会する機会は他にないので、ぜひ今後にも生かしていただきたい。

「たんばなう」と「菜饗グルメグループ」のように、地域課題として全く別なことに取り組んでいるグループが結果的に同じような活動になるということにあらわれているように、地域活動も多様な活動をしている中で同じような取組になっていくこともあるのかと思う。

皆さんの活動を今後も見ていきたい。

【第2部】13:00~15:30

・ビジョン委員会実践活動グループの活動発表

丹波地域ビジョンの5つの将来像ごとに、8つのグループがそれぞれの取組を発表しました

参加者には、グループの発表に対する意見や感想をふせんに記入していただき、会場内のボードに貼っていただきました。

・出展団体との交流

出展団体の活動概要を紹介し、それぞれの団体やビジョン委員会各グループのパネルを見ながら、自由に交流しました。

○横山専門員コメント

課題解決を新しい視点から取り組んでいる活動や、自らが持っているノウハウだけでなく学習会等によりスキルアップを図ったうえで実践していく活動等があり、地域に入っていく活動等に期待したい。

情報発信の手段を活用し、メンバーだけでなくさらに大きな活動につながるよう頑張ってもらいたい。

○小橋専門員コメント

ビジョン委員の中でも若い人や元気な高齢者が活動されており、多世代に頑張ってもらいたいと思うなか、お父さんお母さん世代も仲間に入れて、より一層力強い活動となることを期待する



第1部：ビジョン委員が実践活動グループに関係なく5つのテーブルに別れて自由に意見交換し、でた内容をテーブルごとに発表しました。



第2部：実践活動グループの取組について発表した後、参加者全員で交流しました。